



ぼくの夢・わたしの夢

86

地球より重い命を守る人として



日置中学校3年

永松 佐知子

私は将来、医師になりたい
 と思っている。小さいころ病
 気がちだったこととか、野口
 英世の伝記を読んで感動した
 ことなど、医師になろうと思
 った理由はいろいろとあるの
 だが、その中でも一番の理由
 は、医師は人の命をあずかる
 職業だということだ。「人の
 命は地球より重い」といった
 政治家がいたが、まさにその
 通りで、人の命は他の何もの
 にも替えがたい。一人でも多
 くの人の命を私の手で救うこ
 とができたならこんなに素晴ら
 しいことはないと思う。

それともう一つ私には夢が
 ある。それは、世界の多くの
 人を助けることだ。全く見ず
 知らずの人を助けるというの

は簡単なことではない。それ
 に外国に出るといことはさ
 らに困難を極めるだろう。し
 かし私は日本人だけではなく、
 世界中の人と出会って、日本
 だけでは学べない何かを学び
 たいのだ。

このように私が思うのは、
 「夢はでつかく持った方がい
 い。」という自分の考えと、多
 くの人に会って様々な経験を
 してみたいという私の願望を
 総合した結果だ。「なりた
 いものになる」ということは決
 して楽なことではない。私も
 中学校を卒業すれば、夢への
 第一歩を踏み出すことになる。
 困難の壁にぶちあたる日が多
 いと思うが、それを乗り越え、
 自分の夢を実現させたい。

日置俳壇

〈兼題 茸〉

〈雑詠〉

手話の人茸の美味しさ伝えけ
 り 松岡ヨシ子

小さくとも幸せ香る松茸飯
 西村亥子代

在りし日の母の笑顔や茸飯
 石川 静子

先客の松茸の声につられ買ふ
 大永 邦代

紐とけば香り広がる茸かな
 松岡ヨシ子

一盛に売られしきのこ他国産
 窪田 由来

茸狩思い出のみや老にけり
 宮本やすの

鄙の祖母干本しめじ縁に干す
 富田佳津美

秋刀魚焼く路地に明るい笑い
 声 松岡ヨシ子

稲架を解く棚田を包む夕茜
 松岡ヨシ子

大阿蘇の茜に染まる花すすき
 西村亥子代

姪を連れ母を演じて秋祭り
 大永 邦代

鉦叩くる日も同じ草の中
 西村亥子代

秋の蚊を叩きそこねて老を知
 る 富田佳津美

放牧の仔牛も畜舎へ秋の暮
 白石 敏江

天高く愛犬にわとり襲いけり
 石川 静子

「たしかめて。
 火を消してから 次のこと」

—平成13年度 全国統一防火標語—

住宅火災では、「てんぷら鍋のかけ
 忘れ」などこんろの原因による出火
 が昨年も第1位を占めています。

てんぷらを揚げているときに電話
 や来客があっても、

こんろの火をたしかめて。

コックを閉め火を消してから

電話に出るなど次のことを行うよ
 うにしましょう。

● 火災時の問い合わせ ●

☎ 長門 22-1414

長門地区消防本部・中央消防署

☎ 長門 22-0119

西消防署 ☎ 油谷 32-1230